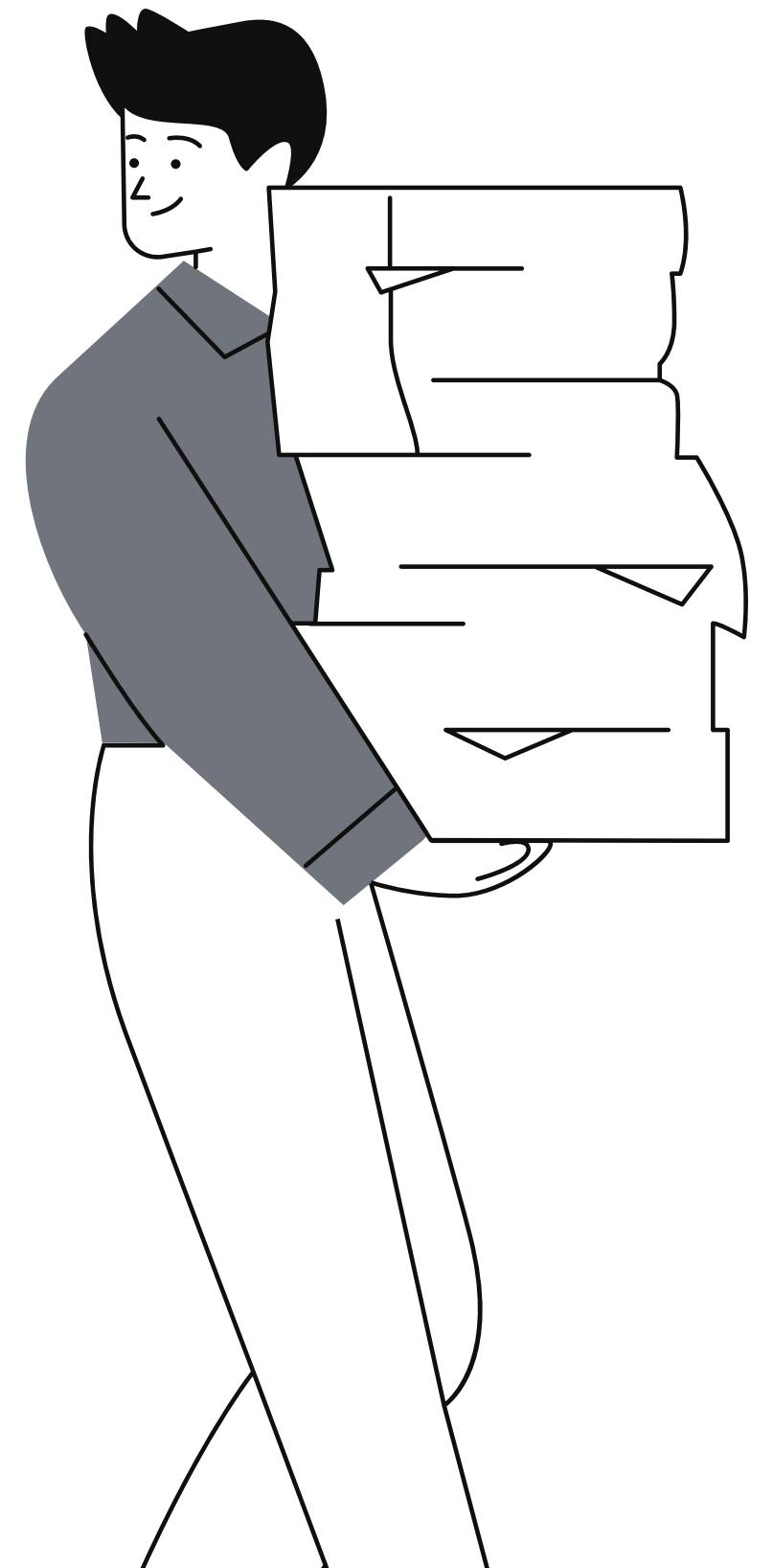


旧ワセダクロニクル

Tokyo Investigative Newsroom Tansa



What's Tansa?



1

探査報道に特化

2

独立・非営利

3

国際ニューズルーム

4

オンラインで記事発信

5

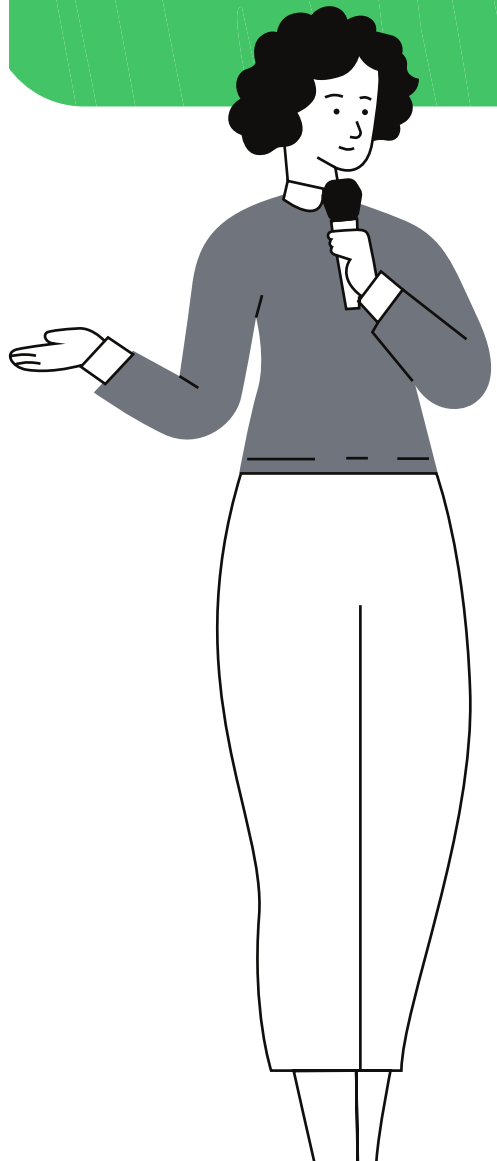
ジャーナリスト教育

探査報道ジャーナリスト養成学校 Tansa School

市民をジャーナリストに。

ジャーナリストを一流のジャーナリストに。

こんな方にオススメです



1

事実を掘り起こすスキルを学びたい方

2

探査報道ジャーナリストを目指す記者や学生

3

市民ジャーナリストを目指す方

4

政策推進や議案チェックに有用な知識と
ノウハウを身につけたい議員の方

5

裁判に提出する証拠や、自身が取り組む社会問題
のため調査能力を身につけたい弁護士やNGOの方

ベーシックコース

だれでもご参加いただけます。2020年11月～2021年3月に実施したベーシックコース第1期では、全国の新聞社やテレビ局の若手記者、地方議員、NGO職員、社会投資家、学生など44名の方々にご参加いただきました。

1

全10回の講義を週1回
オンデマンド配信



2

普段のやりとりは
オンラインコミュニティ



3

半年間で2回の
対面・オンライン研修



4

受講終了後も
ネットワークを活かして活動



アドバンスドコース

ベーシックコースを受講した方におすすめです。8カ月間かけて探査報道(調査報道)の手法を学びながら、それぞれの現場で実践してもらうプロジェクト型のコースです。2021年6月から開始。受講終了時に、「名刺代わりの作品」をつくるのが目標です。

1

まずは講師とともに
半年後の目標を設定



2

オンラインで指導を
受けながら取材を進める



3

対面で研修で
より深い指導を



4

記者は報道記事の公開を、
市民は取り組む課題への成果を



講師陣

ベーシックコース第1期の例



渡辺周
Tansa編集長



渡辺真希子
学術情報の専門家



辻和洋
國學院大学経済学部
特任教授

+

依光隆明
朝日新聞元特別報道部長

マーティン・ファクラー
元NYタイムズ東京支局長

サイモン・デニヤ
ワシントンポスト
東京・ソウル支局長

喜田村洋一
弁護士

佐藤慎一
元財務省事務次官

2020年度

成果

- 国内外から44名のジャーナリストと市民が参加
- 次年度以降も使えるコンテンツの基盤を作ることができた
- 受講生は学んだことを実践し、自社の記事やメディアへの寄稿で発信
- 受講生が自発的にネットワークを形成
- 出前授業を実施し、議員や市民団体の取り組みを後押しできる手応えを実感

課題

- 新型コロナウイルス感染症の流行下において、対面コンテンツの実施が難しかった
 - ①実施自体が困難だった
 - ②「ハイブリッド型」で実施した場合、対面参加者とオンライン参加者で受講の密度に差が出てしまった
 - ③オンライン参加者の満足度を高めるために高性能の機材と人手を要しコストがかかってしまった
- 受講生の離脱者が出てしまった

今後に向けて

- 感染症流行下に対応し、質を落とさないコンテンツを届ける
- 「ハイブリッド型」コンテンツを実施する際は、スタッフの事前研修や準備を徹底する
- 社会に蓄積された「コロナ下のノウハウ」を学ぶ
- 離脱者を出さないようフォローアップに力を入れ、受講生同士のコミュニティを活発にする工夫を取り入れる

